



5月



図書館だより

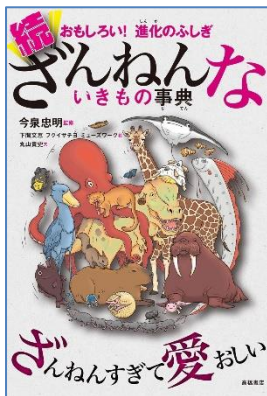
令和6年5月

八尾高校図書委員会

31H 森・麦谷

生き物に関する本

気温も上がり、だんだんと暖かくなってきましたね。これから、動物園や水族館はにぎわうことでしょう。また、ペットなどと触れ合う時間が増えるのではないのでしょうか。動物に関する本を読み、動物や飼育員さんの日常などを深く知り、動物との交流を満喫しませんか！（T）



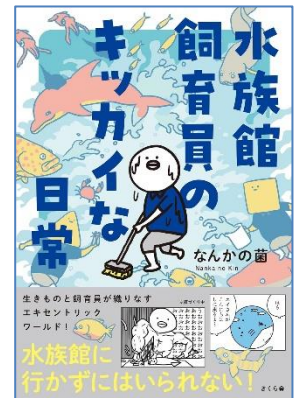
「続・ざんねんないきもの事典」

今泉忠明 高橋書店

皆さんはどのくらい動物のことを知っていますか？この本には、残念だなあと思う、生き物の進化やこだわり、生き方、能力などが書かれています。たとえば、ナマケモノは昔多くの種類がいて、大きなものは体長4.5mあったそうです。ところが、大きなものは人間に狩られ小さなものだけが生き残りました。その子孫が今のナマケモノだそうです。人間は恐ろしいですね。周りの人にこのような豆知識を教えて自慢したくないですか？そんな方はぜひ、この本をどうぞ！周りの人とアニマルトークで盛り上がってください。（T）

「水族館飼育員のキッカイな日常」 なんかの菌 さくら舎

水族館といえば、きれいな魚やかわいいイルカに癒される空間…ですが、そんな水族館の「裏側」がどうなっているのか、気になったことはありませんか？筆者はもともと美術史専攻の文系大学院生。捨て身で受けた水族館の採用試験に合格し、飼育担当として働くことに。本書は、水族館の「裏側」での飼育員のキッカイな日常をつづった4コマコミックエッセイ。「サメよりエイに気をつけろ」「一途なゴブダイ、浮気性のフグ」「水族館の怪談」などなど。バックヤードツアーでも見ることのできない水族館の裏側が、ゆるくて面白い4コママンガで描かれている一冊です。（K）

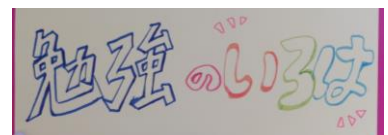


勉強初級者必見！



どこから勉強に手を付けていいのかわからない・・・という人のために、図書委員長おすすめの、英語・数学・日本史・世界史の入門本を図書館前に展示しました。1年生はもちろん、2・3年生も今からでも遅くない！基礎を固めるチャンスです！

スタートダッシュでライバルに差をつけよう！



読書をしようぜ！



偉人伝（伝記）のすすめ

「高校生（大人）にもなって、今さら、偉人伝を読む必要はあるのか」これが皆さんの率直な感想であると思います。かつては、私もそう感じていましたが、現在は、逆に偉人伝を読むべきものと考えています。（特に十代後半で）

その理由の一番目は、偉人伝は、人生の目標や志を高めることができます。偉人の偉業や生き様に触れ、自分も何か大きなことを成し遂げたいと思うようになります。また、彼らの苦労や挫折を知り、困難に立ち向かう勇気や力をもらうこともできます。

二番目に、偉人の考え方や生き方を知ることができます。その中から、大切な価値観や人生観を見つけることができ、自分の人生に活かすこともできます。また、異なる価値観や考え方に触れることで、自分の視野を広げることができます。

三番目に、知識や教養を身につけることができます。偉人伝には、歴史や文化、科学、芸術など、さまざまな分野の知識が詰まっています。偉人伝を読むことで、

幅広い知識や教養を身につけることができます。

以上により、偉人伝を読む効用は高く、皆さんの人生のためになると考えます。(N)



今月の一冊 「大人のための偉人伝」 著者：木原武一

新着図書紹介



今月紹介する本はすべて寄贈本です。寄贈してくださった先生方ありがとうございます。図書館前に展示中です。

世界最高峰の研究者たちが予測する未来：山本康正

鳥類学は、あなたのお役に立ってますか？：川上和人

東京藝大で教わる西洋美術の見かた：佐藤直樹

シャーロック・ホームズの凱旋：森見登美彦

戦争の地政学：篠田英朗

1兆ドルコーチ：エリック・シュミット

藤原道長の権力と欲望：倉本一宏

大人のためのお金学：中山智香子

夜明け前（が一番暗い）：内田樹

仏像さんを師とせよ：八坂寿史

読んじやいなよ!：高橋源一郎

マンガ版マルチスピーシーズ人類学：奥野克巳

ありがとうございますごめんなさいもいらない森の民と暮らして人類学者が考えたこと：奥野克巳

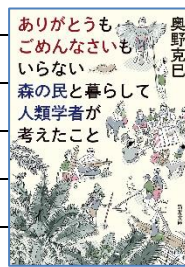
ぼくはウーバーで捻挫し、山でシカと闘い、水俣で泣いた：斎藤幸平

かか：宇佐見りん

宮沢賢治：北川前肇

共感革命：山極壽一

日本進化論：落合陽一



新しい地政学：北岡伸一

死刑について：平野啓一郎

パンとサーカス：島田雅彦

オッサンの壁：佐藤千矢子

新説戦乱の日本史：倉本一宏

マンガ人類学講義：奥野克巳

教養としての俳句：青木亮人

